しまね地域国際研究センター研究助成金

島根の地域課題解決にむけた
特別支援教育センターの開設に向けた試行

島根県立大学　特別支援研究推進チーム

西村　健一　　内山　仁志　　水内　豊和

島根県の地域課題と本事業による取組の方針

課題1)特別支援教育の人材不足
課題2)特別支援教育の相談先不足
課題3)障害児・者とその家族、の社会参加の場所の少なさ

取組1）松江キャンパス西村、内山、水内のチームによる課題解決に向けた事業①②③
取組2）2年間の研究の集大成となる講演会・パネルディスカッションの開催④

①肢体不自由のある子のeスポーツ大会をしよう（西村）

・山陰パナソニック株式会社様と連携し、eスポーツを活用した余暇支援を実施。

②読み書き支援相談会と保護者向け講演会の開催（内山）

・8月、10、11月に松江、出雲、隠岐にて、支援器具体験会、児童支援に関する相談会を実施。
・8月3日（土）全国LD親の会会長を招いて保護者向け講演会と座談会を開催。その後、縁つむぎの会という島根県の親の会が発足。

③発達に気がかりのある乳幼児とその家族の心理と発達、ならびに成人の余暇を支える取り組み（水内）

・2023年度に続き親子活動「けんだい　ふる―る」（別掲）時に、保護者を対象とした発達相談を実施。
・2024年度から発達障害成人当事者のピアサポートグループ「オロチぼたんの会」を発足し、毎月活動。

④事業成果報告会「地域における特別支援教育のあり方」

・松江市に縁の深い黒田美保氏（田園調布大学教授）を招請し、島根県の地域を支える3氏を加えて、研究チームメンバーと共に、県民を対象とした講演会とパネルディスカッションを開催。